



学校だより

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

加小っ子だより

令和6年7月16日 No.13

いよいよ夏休みまで残り一週間となりました。

1学期は、新しいクラスになり、新しい友だちとの出会いがあり、そのような環境の中で遠足などの行事がありました。また、学習面は学年が一つ上がり、難しくなったところもあったことと思います。

1学期を学習面、生活面からしっかりと振り返り、有意義な夏休みとなるようにあとひといきがんばっていきましょう。

蒸し暑い日が続いています。熱中症に気を付けながら体調を万全にして、残りの一週間を乗り切りましょう。

画像の掲載を
控えさせていた
だきます。
ご了承ください

絵本を読んでもうありがとう

1年生は国語、6年生は総合的な学習の授業の一環で、6年生が1年生に絵本を読み聞かせる取組を行っています。

7月2日には2回目の読み聞かせの取組がありました。

1年生は、6年生にいろいろな種類の絵本を読んでもらえるのでとても楽しみにしています。お兄さんお姉さんが読んでくれる絵本に触れて、ますます本好きになってほしいです。

6年生は、1年生にわかりやすく、気持ちを込めて、寄添った読み聞かせを行っています。絵本を選び、事前にしっかり練習をして、絵本の世界を想像しながら、気持ちを込めて伝えるように読んでいます。読み聞かせの様子を見ていると6年生もこの機会を楽しみにしているようです。

お互いを思い合っている読み手と聴き手の姿はとてもほほえましく見えます。

1年生にとっても、6年生にとっても3回目以降も楽しみですね。



全校みんなで楽しいレクリエーション！

7月3日(水)、児童集会がありました。

校歌を歌った後、今回の集会では児童会で考えたレクリエーション「じゃんけん列車」に全校で取り組みました。

関わったことのない児童同士がじゃんけんをして負けたら後ろにつながっていくルールでしたが、最後に勝ち残った子どもが先頭となり1本の列車となりました。とても盛り上がりました。



自分の身は自分で守る。着衣水泳を学びました

7月10日(水)、消防署から6名の講師をお招きして、6年生で着衣水泳の授業を行いました。

池や川、海で服を着たままで落ちてしまったときに大事なこと5つ（①浮いて待つ、②水の中に助けに入らない、③浮くものを投げ入れる、④早く119番通報、⑤大人を呼ぶ）を教えていただき、「浮いて待つ」ために浮く訓練をしました。

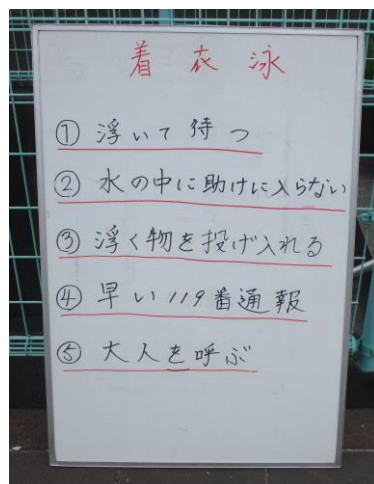
人間は、水の中では全体の2%しか浮くことができず、立ったままの状態だと頭のとっぺん部分しか浮かないとのこと。この状態だと鼻や口が水の中に沈んでしまうので、呼吸ができず心停止につながるとのこと。助かるためには、鼻や口が水面から出るように体の力を抜いて浮くことが大切であると教えていただきました。

訓練では、みんな、力を抜き上手に浮くことができました。また、空のペットボトルなど浮くものを抱えるなどすると浮力が付き、さらに長く浮いていることができることを教えていただきました。

万が一の時に、冷静になって体の力を抜き「浮いて待つ」ことができるように心がけましょう。

あと10日ほどで夏休みに入ります。

水の事故にあわないようにすることが一番大切です。訓練を受けたからと言って、「大丈夫」と思わずに、池、川など水辺には近づかない。大人と一緒に行く。泳ぎに行くときはライフジャケットを着用するなど、事故防止を心がけていきましょう。



夏休みに読書をしよう！

図書館前には、新しい本や課題図書を紹介がされています。また、図書委員会で各学年の子どもたちの多くが、1学期間でどんな本を借りているのかをランキング形式でまとめたり、各月の学年別貸し出し冊数を表にまとめたりして発表してくれました。全校のみんなに図書館に来てもらって、本を好きになってもらうように工夫をしてくれています。

このように紹介してもらっている掲示物を参考に、長い夏休みを利用して、時間をかけて読書をしてほしいです。自分の興味関心や集中力と相談しながら、たくさんの本の中から短めの本や長めの本、小説や物語など、自分で手に取って読み進めてみてください。そこから得られる新しい世界がきっとあると思います。

画像の掲載を 控えさせていただきます。 ご了承ください



毎月 10 日は人権の日です

加佐登小学校では、「安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』」を目指して、毎月 10 日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」日とし取り組んでいます。

7 月 10 日、職員はピンクのものを身に付けて、いじめ反対を訴える「ピンクシャツ運動」にも取り組んでいます。

画像の掲載を
控えさせていただきます。
ご了承ください

今月は、絵本「ともだち」（谷川俊太郎 著/和田誠 イラスト）の一節を紹介します。
ぜひ、絵本を手にとって全部を読んでほしいなと思います。

さて、「ともだちって〇〇なひと。」のフレーズでともだちについて考える詩がつづられています。みなさんは「ともだちって〇〇なひと。」のフレーズを聞いて、自分にとっての「ともだち」ってどんなひとかを考えてみてくださいね。

すぐそばにいてくれるともだち。一緒に楽しんでもくれるともだち。一緒にサッカーをプレーしてくれるともだち。叱ってくれるともだち。などなど

今、同じクラスになってできた「ともだち」や同じ学年の「ともだち」、違う学年の「ともだち」っていろいろな偶然が重なって、宝くじに当たるよりもすごい確率での出会いだと思います。そんな「出会い」を大切にできる人になってほしいと思っています。

そして、まず会ってみて、まず話してみ、まず遊んでみて・・・相手のことを「知る」努力をしていってほしいなと願っています。相手のことをよく知って、いいところ、すごいなあとと思うところを見つめ、相手を大切に思うこと。「友だちを大切に、自分を大切に」そこから、人と人はつながっていくような気がします。